

1. 単元名 かけ算(2)

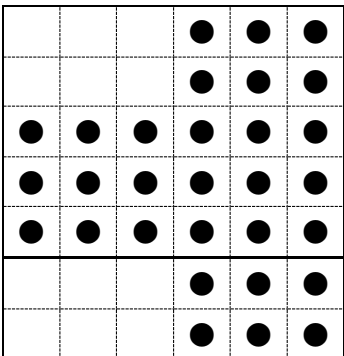
2. 本時の指導(15/17時間)

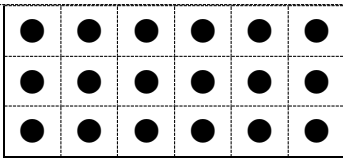
(1) 本時の目標

- ・図とかけ算の式を関連づけながら考えを伝えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・同じ数のまとまりを作り、かけ算を用いてドットの数を求めることができる。

【数学的な考え方】

(2) 展開

過程	学習内容と学習活動(●)	○指導・支援 ◇評価	資料
見 い 出 す 5 分	1. 素材を知る  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ㊦ チョコレートは、ぜんぶでなんこあるでしょう。                 </div> ●図を見て、これまでの学習との違いを確認する。 ・きちんとならんでいない ・同じ数ずつならんでいない	○かけ算を使えば求められそうだと いうことを確認する。	素材
	2. 学習問題をつくる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ㊧ 同じ数ずつならんでいない●は、どのように計算したらよいだらう。                 </div>	○児童の言葉を使いながら、学習問題を 立てていく。 ○掲示物から既習事項を想起させ、問題 解決の見通しを立てる。	掲示物
調 べ る 5 分	2. 自分の考えをノートに書く。 【わけたし作戦】   $3 \times 3 = 9$ $5 \times 3 = 15$ $9 + 15 = 24$	○仲間分けの理由を「も・ず・こ・け・ し」を使いながら書くように促す。	アレイ 図のプ リント



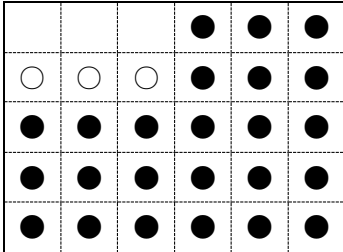
【わけたし作戦】

$$3 \times 2 = 6$$

$$6 \times 3 = 18$$

$$6 + 18 = 24$$

【おひっこし作戦】

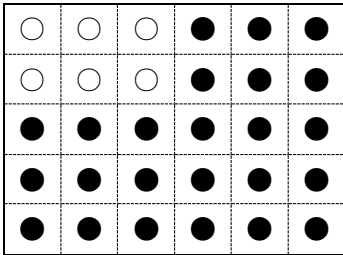


$$4 \times 6 = 24$$

または

$$6 \times 4 = 24$$

【たすひく作戦】



$$5 \times 6 = 30$$

$$2 \times 3 = 6$$

$$30 - 6 = 24$$

深  
め  
る  
27  
分

3. 学び合いを行う。

- 席を立ち、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりと自由に話し合う。

**自分の考えが持てた児童**

- ・自分の考えを友だちに伝える。また、友だちの考えと自分の考えを比べる。
- ・悩んでいる児童と一緒に考える。

**途中まで考えを持てた児童**

- ・友だちからヒントをもらいながら、自分の考えを深める。

**考えが持てなかった児童**

- ・友だちと交流することで、自分の考えを持つことができる。

●全体で話し合う。(比較検討)

- ・図や式だけを見て、友だちの考えを推察する。
- ・答えの確認をする。

- ネームプレートを活用して、自分の考えを説明できたら、ネームプレートを貼らせる。

- 学び合いの目的を伝える。

- ・自分とは違う考え方を聞く。
- ・最後に似た問題を出すので、一人で解けるように、よく分かるまで聞く。

- ◇図とかけ算の式を関連づけながら考えを伝えようとしている。

【関心・意欲・態度】

- 式だけ提示したり、図の囲みだけを提示したりして、他者の考えを推察させる。

- なぜ、分けたり、●をつけたしたり、

移動したりするのか考えさせる。

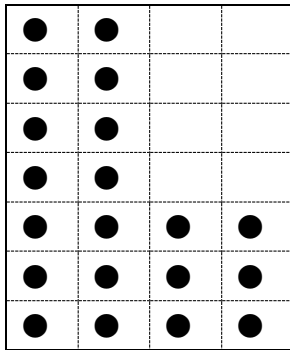
ま  
と  
め  
あ  
げ  
る  
8  
分

4. まとめをする。

㊦ 同じ数ずつならんでいない●は、同じ数のまとまりを作って計算すればよい。(分けたし、おひっこし、たすひく作せん)

5. 適用問題を解く。

●今日習ったことを生かして問題を解く。



●答えの確認をする。(30こ)

○板書にキーワードを残しておき、自分の言葉でまとめられるようにする。

○同じ数ずつまとまりを作り、図にも書き込ませる。

適用問題のワークシート

